



2020年10月21日

各 位

会 社 名 株式会社ひかりホールディングス
(コード番号 1445 TOKYO PRO Market)
代 表 者 名 代表取締役社長 倉地 猛
問 合 せ 先 管理部部長 丹羽 直樹
T E L 0572-56-1212
U R L <http://www.h-holdings.jp>

2020年8月期通期連結業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2020年4月15日に公表しました2020年8月期(2019年9月1日～2020年8月31日)の業績予想と実績値との差異について、下記の通りお知らせ致します。

記

1.2020年8月期通期連結業績予想数値と実績値との差異(2019年9月1日～2020年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 2,542	百万円 112	百万円 136	百万円 29	円 銭 111.90
今回実績(B)	2,953	48	49	74	284.15
増減額(B - A)	411	△63	△86	44	
増減率(%)	16.2	△56.4	△63.8	153.9	
(ご参考)前期実績 (2019年8月期)	2,180	26	25	22	86.05

2.修正の理由

売上高は当連結会計年度において 2,953 百万円となり、前年対比 35.4%の進展を致しました。タイル・石材建築工事業において、(株)セラミックワンの受注が好調に推移するとともに、2019 年 9 月よりスマート・ブリック(株)を連結子会社化したこと、電気通信事業において情報通信設備需要が堅調に推移したことが売上増加に大きく寄与しました。

一方、利益面においては、営業利益 48 百万円（前年同期比 88.2%増加）、経常利益 49 百万円（前年同期比 91.7%増加）と前年同期比で収益性が改善したものの、業績予想数値に対しては未達となりました。電気通信工事業において拠点・人員が増加したこと、建材卸売事業において販路拡大にともなう人件費・経費が増加したことにより、連結グループ全体としては営業利益および経常利益が目標未達となりましたが、投資有価証券売却益により親会社株主に帰属する当期純利益は目標達成となったものです。

以 上